

EEM310 ベンチャービジネス概論

3年 1,2クォーター

担当教員	高原 裕一
授業形態	講義
単位数	2
曜日・時限	未定

授業概要

社会に新しい価値や活力をもたらすベンチャービジネスについて、概念を正しく理解するために必要な基本知識として、ベンチャービジネスの概要やイノベーション、マーケティング、マネジメント、起業家精神、製品と商品の違い、経営の必要性などについて学び、理解を図る。

その後、ビジネスの着眼・構築力、プレゼンテーション力等のビジネスに関する基本スキルの習得を目的として、技術シーズや市場ニーズをビジネスに展開していくための考え方について、事例をもとに学ぶ。

身につけた知識やスキルをもとに、個人あるいはグループでベンチャー的なビジネスを考案し、ビジネスアイデアにまとめ、ビジネスプランとして提案・発表までを実践することで、イノベーション創出、推進に関する自らの可能性の扉、創造の翼をさらに大きく広げるきっかけをつくることを狙いとする。

到達目標

- ・研究テーマや自身の日常生活からくる不足や願望解決をビジネスの視点で考察
- ・市場の考え方などを体系的に理解し、これからの研究・学習活動に取り組む姿勢やキャリア形成、職業選択の考え方を見直すきっかけについて考察

先修科目

なし

教科書・参考資料等

高原裕一のオリジナルテキスト

「誰でも起業家になれる！～起業家的感性人生のすすめ～」

授業の方法

配付資料、板書、PPT等を使って詳しく講義を行い、その内容についてディスカッションを行って理解を深める。学生が考案したビジネスプランの作成、およびその過程の確認と相互フィードバックを演習形式で行う。プランは、規定に則って発表した上で、学生相互も含む評価も受ける。

成績評価

講義、演習への参加態度と、プランの内容および発表の様子により採点。

成績

70%	ディスカッション
30%	ビジネスプランプレゼンテーション

授業スケジュール

第1回【講義】：ベンチャービジネスと起業家の資質。誰でも起業家になれる。

ベンチャービジネスについての概念を理解する。

第2回【講義】：イノベーションとビジネス、ビジネスの着眼。ビジネスの種を見つけよう。

起業時におけるイノベーションの意義、効果について学習する。

第3回【講義】：起業家の生き方、考え方を事例に見る①

実在の起業家の伝記に触れ、ビジネスに至るその思考方法を学ぶ。

第4回【講義】：起業家の生き方、考え方を事例に見る②

起業時におけるイノベーションの意義、効果について学習する。

- 第5回【講義】**：ビジネスのポイント①ビジョンを持ち戦略を練る
起業時に重要となるビジョンについて作成および実現ための戦略について学ぶ。
- 第6回【講義】**：ビジネスのポイント②市場を創造する（開発，商品化，ブランディング）
起業時に重要となる市場の反応についてブランディング等とあわせて学ぶ。
- 第7回【講義】**：ビジネスのポイント③市場を開拓する（マーケティング）
起業時に重要となる新しい市場の創出方法について学ぶ。
- 第8回【講義】**：ビジネスのポイント④経営チームをつくる（マネジメントと財務）
起業時に重要となる新しい経営のための組織づくりについて学ぶ。
- 第9回【講義】**：より良いビジネスプランとは
ビジネスプランについて内容をブラッシュアップすることの重要性とその方法を学ぶ。
- 第10回【演習】**：ビジネスプランをつくろう①（グループもしくは個人でプラン作成を通して，理解を深める。）
グループに分かれてビジネスプラン作成実習を行う。
- 第11回【講義】**：ビジネスプランとビジョン，コンセプト，技術革新
ビジネスプラン作成において重要なコンセプトづくりや技術革新の利用方法を学ぶ。
- 第12回【演習】**：ビジネスプランをつくろう②
グループに分かれてビジネスプランを作成し，その練り方を学ぶ。
- 第13回【演習】**：ビジネスプランをつくろう③
グループに分かれてビジネスプランを作成し，その練り方を学ぶ。
- 第14回【演習】**：ビジネスプランをつくろう④
グループに分かれてビジネスプランを作成し，その練り方を学ぶ。
- 第15回【発表】**：ビジネスプランの発表と相互評価①
グループに分かれて作成したビジネスプランを発表し，相互に評価する。
- 第16回【発表】**：ビジネスプランの発表と相互評価②
グループに分かれて作成したビジネスプランを発表し，相互に評価する。

事前・事後学習

- ・ 予習：テキストの該当する章を参照して予習するとともに、新聞等において関連情報を収集してこること（1時間程度）。
- ・ 復習：授業内容を復習し、疑問点を整理すること（1時間程度）。